

かごしま環境未来館



【コンセプト】

鹿児島市の甲突川沿いに建設され、環境に対する取り組みを発信していく市の環境啓蒙施設。「緑の創出」を最重要課題とし、建物の大半を緑で覆い「緑の大地」をつくった。甲突川沿いの豊富な地下水を空調熱源や雑用水等に利用すると共に、自然採光、自然通風の導入や太陽光発電の採用など、鹿児島の豊かな自然エネルギーを最大限に活用している。シラスを使った緑化基盤や地場産の木材等、身近な自然素材を採用した。

【建築概要】

建築主 鹿児島市
所在地 鹿児島県鹿児島市城西2-1-1
敷地面積 10,162.44m²
建築面積 2,755.52m²
延べ面積 3,042.52m²
構造 鉄筋コンクリート造
(プレキャストコンクリート構造)
階数 地上2階
最高部高さ GL+9.20m
駐車台数 43台
工期 2007年3月～2008年5月



かごしま環境未来館



フィールドから見る建物全景



水盤に導かれるアプローチ



展示導入部



自由にあがることできる「緑の台地」



「緑の台地」の中の展示スペース



市内の廃校になった学校の教室を
使った展示